

マイクロソフト、アマゾン、スターバックスなど世界を変えたイノベーション企業の発祥地シアトルで、グローバルビジネスのノウハウを集中的に学ぶコース。語学研修は行わず、1期目から実践的なビジネストレーニングがスタートします。またアメリカで一定期間学んだ留学生に与えられる「OPT」を取得して無給または有給の企業研修を行うのも本コースの特徴です。

# IBP

International Business Professions

## キャリア構築を目指す、実践型ビジネスコース。 IBP ワシントン大学



12ヵ月  
(休暇を含む)

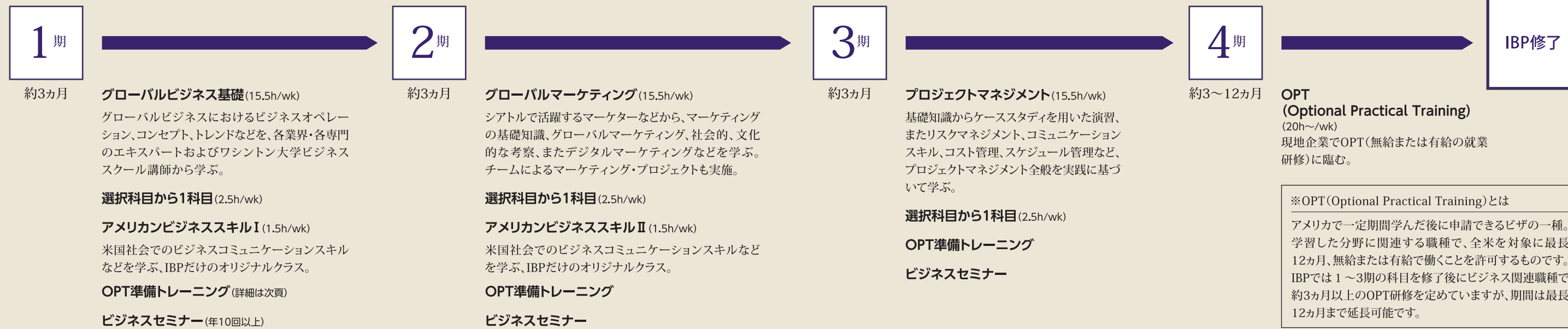
春スタート:3月下旬～翌年3月中旬  
秋スタート:9月下旬～翌年8月下旬

### 特色

- 世界のビジネスをリードするシアトルの中心地で学ぶ。
- 世界各国からの留学生と共に学ぶ、実践重視のビジネスカリキュラム。
- OPTで有給または無休インターンシップを獲得するための、充実したサポート。
- 全米を対象とした最長12ヵ月のOPT企業研修。

ビジネスに特化した実践的なカリキュラム。  
1～3期終了後、4期目にOPT※による企業研修を行います(他コースのインターンシップに相当)。

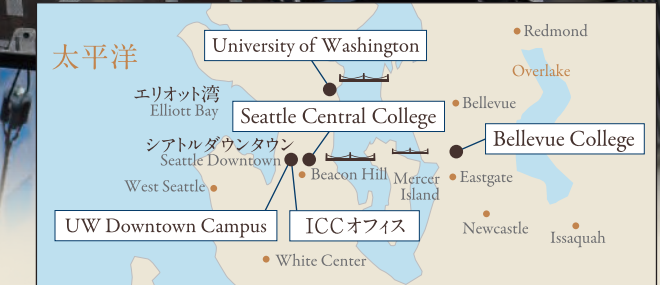
### 年間スケジュール



1期～3期の選択科目は以下のクラスから選択可能です。学期によって開講科目が異なります。  
①ビジネスプレゼンテーションスキル ②ビジネスライティング ③アプリケーション・インタビュー ④インターナショナルネゴシエーションズ

## Life in Seattle

基本情報  
(日本との時差)  
-17時間(サマータイム時は-16時間)  
(気候)  
アメリカ北西部に位置するシアトル。夏の平均気温は24度前後で快晴の日も多く過ごしやすい日が続き、7月から9月がベストシーズン。冬の日照時間は午前8時頃から午後4時頃までで、曇りや雨が多い。北海道よりも高緯度でありながら地形と海流の関係で、最も寒い1月の平均気温は2度前後。都市部で雪が降ることは珍しく、氷点下を下回る日は年間平均で約2週間程度である。  
(治安)  
アメリカの他の都市に比べて安全と言われるが、地域によっては危険な場所も。高価なものは持ち歩かない、夜の一人歩きは控えるなど、最低限の注意は必要。  
(通貨)  
ドル、セント(1ドル=100セント)  
(留学生活)  
シアトルはアメリカ西海岸の最北端に位置し、すぐ北側はカナダ。世界遺産のオリンピック国立公園をはじめ雄大な自然に囲まれ、その美しさから「エメラルド・シティ」と呼ばれています。一方でマイクロソフト、アマゾン、スターバックスといった世界に名だたるイノベーション企業の発祥地であり、教育や所得のレベルが高いことでも有名。インターンシップではグローバルビジネスの最先端に触れることができるでしょう。



OPT  
(Optional Practical Training)  
(20h~/wk)  
現地企業でOPT(無給または有給の就業研修)に臨む。

※OPT(Optional Practical Training)とは  
アメリカで一定期間学んだ後に申請できるビザの一種。学習した分野に関連する職種で、全米を対象に最長12ヵ月、無給または有給で働くことを許可するものです。IBPでは1～3期の科目を修了後にビジネス関連職種で約3ヵ月以上のOPT研修を定めていますが、期間は最長12ヵ月まで延長可能です。

\*選択科目は学期により開講状況が変わる場合があります。



# 年間カリキュラム詳細

ワシントン大学でMBAを提供するFoster School of Businessと提携し、開発した国際的なビジネスカリキュラム。実践力の習得はもちろん、講義では講師自身が直面した課題や、各国学生のビジネスマインドにも触れることができます。

※カリキュラム・講師は変更になる可能性があります。

## 1期 グローバルビジネス基礎

国や会社によって異なるビジネス運営の基礎やトレンドを学ぶ。

毎週異なるトピックを、それぞれの分野の専門家であるビジネスパーソンやFoster School of Businessの講師がレクチャー。ケーススタディ、グループアクティビティ、ビジネスシミュレーションなどに加えゲストスピーカーによる講義も。

### トピック (例 / 変更される可能性があります)

- Global business environment and strategies
- Cross-cultural business communication
- Global marketing
- Global supply chain and trade operations
- Global business law
- Global finance, accounting and taxation

### 講師例

#### Gordon Neumiller

Foster School of Business MBA Strategic Consulting Program ディレクター。前職ではPort of Seattleの貿易振興局ディレクターを務める。世界中を旅し、グローバルトレード及びグローバルビジネスに関して豊富な経験を持つ。

## 米国社会でのビジネスコミュニケーションスキルを習得

### American Business Skills①

1期は会議での発言の仕方、日本人が苦手な発音、プレゼンテーションの仕方、上司への提案の仕方、ビジネスメールの書き方などをかみ砕いて学ぶ。

1期は、ビジネスネットワークングでのコミュニケーション術、会議での発言の仕方、プレゼンテーションの仕方、ビジネスメールの書き方などの実践スキルを身につけます。また、インターンシップの前にアメリカの政治や文化を学び、アメリカの実社会や商習慣の理解を深めます。

### トピック例

- Strategy for Making “Small Talk”
- Public Speaking and Tips for Storytelling
- Giving Warm and Cool Feedback
- American Politics/Politics of Sports
- Diversity, Bias, Exclusion and Inclusion throughout American History
- Role-play Debate
- Essential Email Etiquette / Sending Thank-you Notes



### 滞在方法

シアトル郊外におけるホームステイが一般的です。ホームステイ先では基本的に個室が用意され、リビングやバスルームなどをシアトル近郊在住のホストファミリーと共有します。通学はバスや電車を利用します(春出発に限り、メインキャンパス付近の大学寮に申請が可能です)。

## 2期 グローバルマーケティング

グローバルマーケティングの基礎を習得

地元シアトルのマーケティングのプロフェッショナルやFoster School of Businessの講師から、グローバルマーケティングの基礎と概要を学ぶ。マーケティングコンセプト・戦略・手段・最優良事例・実社会での応用などを、ケーススタディ、ゲストスピーカーによる講義やグループワークを通して学び、最終課題ではチームでグローバルマーケティングプランを作成。

### トピック (例 / 変更される可能性があります)

- Global marketing strategy and the trading environment
- Marketing fundamentals, including Product, Price, Place, Promotion
- Social and cultural environments and marketing considerations
- Market entry, channel strategy and partnering
- E-commerce and digital marketing
- Customer relationship management

### 講師例

#### Fred Pursell

マイクロソフトにシニアマーケティング マネージャーとして従事。テクノロジー分野において、グローバルセールス・マーケティング・ビジネス開発に関して長年のキャリアを築く。Intel、HP、オラクル、マイクロソフトの他、IT関連スタートアップなどに対するコンサルティング経験も豊富。

## 米国社会でのビジネスコミュニケーションスキルを習得

### American Business Skills②

2期ではアメリカの職場で必要なスキルを実践的に学ぶ。ワークショップなどのアクティビティを通して実社会で使う会話力やコミュニケーションスキルを鍛える。

実際のビジネスの現場での課題やモデルケースを用いながら、プレゼンテーションやディスカッションを行い、より実用的な課題解決方法やビジネススキルを身につけます。

### トピック例

- Discussion Activity/Professional Language for Debates
- Advanced Giving Warm and Cool Feedback with Keep, Stop, Start Feedback
- Sports Metaphors in Business
- Language of Persuasion
- Discussion on American Politics: Democrats and Republicans
- Introduction to NAFTA Debate Project
- K/W/L Chart
- Planning Arguments, Counterarguments and Rebuttals
- Persuading an Audience
- Group Discussion: Marketing Techniques
- Workshop and Presentation: Planning a Pitch/ Pitch Your Product

## 3期 プロジェクトマネジメント

マネージャーとしてプロジェクトを成功に導くためのスキルと知識を習得。

プロジェクトマネジメントのプロやFoster School of Businessの講師が授業を担当。ケーススタディやゲストスピーカーによる講義、グループアクティビティなどを通して、プロジェクトの立ち上げ・企画・進行の方法やツール・テクニックなどを学び、コースの最後には仮想異文化間でのプロジェクトに取り組む。



### トピック (例 / 変更される可能性があります)

- Managing communications & expectations
- Project definition & structuring
- Schedule preparation & costing
- Essential elements for successful projects
- Project execution
- Project control
- Managing vendors
- Closing projects
- Tools and technology
- Cross cultural and virtual teams
- Future trends

### 講師例

#### Gracien Charles-Antoine

スターバックス グローバルR&D ポートフォリオ&プロジェクトマネジメント マネージャー。15年以上にわたる商品・プロセスのマネジメント経験を持ち、現在はスターバックスにて飲料製品のポートフォリオマネジメントなどに関わる。前職ではSymetraでITプロジェクトマネージャー、富士通コンサルティングでITシニアコンサルタントを務めるなどプロジェクトマネジメントの豊富な経験を持つ。

# OPT<sup>※</sup> 準備トレーニング

研修先が決定するまで、ICCが徹底サポート。

※OPT(Optional Practical Training)とは

アメリカで一定期間学んだ後に申請できるビザの一種。学習した分野に関連する職種で、全米を対象に最長12か月、無給または有給で働くことを許可するものです。IBPでは1～3期の科目を修了後にビジネス関連職種で約3か月以上のOPT研修を定めていますが、期間は最長12か月まで延長可能です。OPTのブレイズメントや企業へのアプローチについても、ICCがワシントン大学と提携して手厚くサポートします。

## 1期

### ①行動計画書を作成

滞在期間を通しての計画書を一人ひとり作成。日単位、週単位、月単位など方法は自由。具体的な目標と日程を意識し、毎日を効果的に過ごす狙い。

### ②行動計画書を発表

IBP生と現地ICCスタッフに全員に対して行動計画書を発表し、意見交換。目標を明確に意識するとともに、互いの目標をシェアしてサポートし合う狙いも。

### ③現地ICCスタッフとの個別面談

行動計画書に基づいてスタッフが一人ひとりと面談しサポートの方法を提案。ICCのネットワークや過去のインターンシップ事例を紹介し、情報収集の方法を指導します。

## 2期

### ①ワシントン大学主催OPT説明会 必要書類やスケジュールを把握し、各自準備を開始。

### ②現地ICCスタッフとの個別面談、 情報提供

1期に引き続き個別面談やネットワーキングの機会を提供。期限内に速やかにOPT申請ができるよう、申請書類の確認も申し受けます。

## IBP 後半

### ①ICCによるOPT準備講座

2～3期のワシントン大学からのサポートのタイミングに合わせて、ICCでも準備講座を開催。特に模擬面接では、初対面の相手と実際のOPT採用面接さながらの場面を体験。

### ②米国人アドバイザーによる個別カウンセリング

米国のインターンシップ事情を熟知したアドバイザーによる個人カウンセリングを実施。各業界での人脈づくりや情報収集のアドバイスを受けられます。

### ③現地ICCスタッフとの個別面談

行動計画書に基づき、一人ひとりの進捗を確認。会社・団体の探し方の提案や紹介を行う他、面接やレジュメに関してアドバイス。研修先が決定するまでサポートします。

※OPT先の企業斡旋、税金や雇用に関する専門的なアドバイス、および申請のサポートは含まれません。